

三井住友海上社 南アフリカ・ヨハネスブルグに新事務所を開設

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:柄澤 康喜)が100%出資する欧州持株会社傘下の「Mitsui Sumitomo Insurance Company (Europe), Limited」は、2015年9月を目途に、南アフリカ共和国の最大都市であるヨハネスブルグに新たな事務所を開設します。

サハラ砂漠以南のアフリカ諸国(以下、サブサハラ地域)は、豊富な地下資源や人口増加等を背景として将来に向けた大きな経済成長が見込まれており、今後、保険市場の拡大も期待されます。そこで、サブサハラ地域における保険市場の調査ならびに日系企業のお客さまへのサービス体制の強化を目的に、新事務所の開設と駐在員の派遣を決定しました。

三井住友海上は既に世界39の国と地域にネットワークを有していますが、アフリカで最も経済が発展し、交通の要所でもある南アフリカ・ヨハネスブルグに拠点を構えることで、さらなるネットワークの拡充を目指します。

三井住友海上は、今後も海外事業で培ったノウハウを活かし、さらなるお客さまサービスの向上に努めていきます。

1. 新設する事務所の概要

(1) 名称

Mitsui Sumitomo Insurance Company (Europe), Limited ヨハネスブルグ事務所

(2) 開設予定日

2015年9月(予定)

(3) 主な業務

南アフリカを含むサブサハラ地域での市場調査および日系企業への情報提供

2. 開設の背景と目的

サブサハラ地域は、石油・天然ガス・鉱物資源等の供給地として、また、潜在性のある有望な消費市場として、大きな経済成長が見込まれています。さらに、日系商社等による大型事業投資や自動車メーカー等の進出も相次いでいることから、同地域における保険市場の調査ならびに日系企業のお客さまへのサービス体制の強化を目的に、新たに事務所を開設し、駐在員を派遣することとしました。

(ご参考) アフリカにおける損害保険市場の規模(出典: Swiss Re/Sigma Report No.3/2014)

□市場規模: 22,485百万ドル

□特徴: 市場全体の43%を南アフリカが占める。

□将来性: サブサハラ地域での損害保険の年平均成長率は5.8%とされている。

日系企業の進出数、投資案件も引き続き増加傾向にある。